

水を使わない口腔ケアとは？



含嗽が出来ない、咳反射や嚥下反射が低下した患者さんの口腔ケアを行う際に水を使用していませんか？

口腔ケア実施時に汚染された水を誤嚥することにより、**誤嚥性肺炎**の原因となる可能性があります。このようなリスクを軽減し、安全に口腔ケアを行う方法として**水を使わない口腔ケア**があります。



ポイントは軟化・除去・回収



保湿剤を用いて剝離上皮等の汚染物をしっかり**軟化**させる。



歯ブラシやスポンジブラシ、口腔ウェットシート等を用いて汚染物を出血させないように**除去**する。



除去した汚染物を咽頭へ落とさないよう注意しながら**回収**する。

引用：第31回日本静脈経腸栄養学会学術集会ランチョンセミナー

✓保湿剤が用意できない場合は、ガーゼを水で湿らせてよく絞り、汚染物を軟化させます。

✓汚染物が強固に付着している場合は、口腔ケアを行う前に予め保湿剤を塗布しておくことで除去が容易になります。

✓口腔ケアを行う際は、操作は必ず奥から手前に動かしましょう。

【編集後記】

難症例など口腔ケアでお困りの際は、歯科口腔外科(内線234)または歯科衛生士(PHS 7516)までご連絡下さい。 NST委員会 吉川(地域包括)・相澤・三井(歯科口腔外科)